



春の自然に囲まれ、

子どもたちも先生たちも嬉しそう！

学 園 長 小 島 澄 人

「お外に遊びに行ってきます！」「裏山に行ってきます！」と、子どもたちのその声は弾んでいる。4月、子どもたちが散歩・体験した自然のふれあいのあれこれを振り返ってみたいと思います。

まず、大きなお庭に、大きな鯉のぼりがたくさん泳いでいる。それも、手作り鯉のぼり。自分のクラスのオリジナル作品が集まっているからこそ、皆の目が「アッ！ 鯉のぼりだ！」と目を見張るのでしょう。抱っこされている赤ちゃんも、指さして笑顔を見せる。子どもたちの健康と健やかな成長を祈りましょう。なんだか元気になります。癒されます。

さて、裏山散策をしてみましよう。この1カ月で、いろいろ自然が変わっています。進級式、入園式の頃は、チューリップのお花や桜のお花が、「おめでとう！」を言ってくれていました。

先生方が朝の外掃除の時、桜の花びら集めをしていました。今は、もみじの種がたくさん落ちて来ています。掃き掃除をすると気が付き、木々を見上げ、「もみじの木に種がいっぱい！」とつぶやくのです。4月の自然環境の変化がたくさんありました。いろいろなお花が咲いていました。「あの、お花、綺麗だったな！ もう一度見に行こう」と探しに行くと、もうお花が終わりかけています。お花にも匂があります。柿の葉っぱの新芽が出てきたな。「新芽の天ぷら食べたいな」と思いきや、すぐに実行しないと、葉っぱが大きく育ってしまって、残念！ 美味しい匂を逃がしてしまいます。「さくらんぼの実ができはじめたよ。赤くなったら食べようね！」と思っているうちに、鳥さんに食べられてしまいます。竹の子が顔を見せてくれています。この竹の子にも、いろいろな姿があり、子どもたちは散歩に行く度に、いろいろな発見があります。子どもたちの声に耳を傾けると、楽しくなります。「ちっちゃかったのに、僕より大きくなっているんだよ。」「たけのこの中に竹が出て来たよ。」「皮に毛がいっぱいあったよ。」「僕が見たのは、かさかさしてたよ。」この会話を聞いていた女の子が、「それはね・・・」と説明しています。「ほんとかな？」「行ってみよう！ 見てみよう！」と対話があり、確認、学びの探検に出かけます。そして、「あのね、すごいんだよ！ たけのこってね・・・」と、園長に目をキラキラさせて、口をとんがらせて、話に来てくれます。その子どもたちの言葉に、元気をもらいます。

もうすぐ5月の連休。自然と共遊しよう！ たけのこ掘って、門の所に並べよう。喜んでくださる方がいる。畑は草が出て来ています。雑草だらけになる前に草取りをしよう！ 夏野菜を植えよう！ 自然に目を向けると、「あっ！ 今、これもやらなくては・・・今がチャンス！」と、元気が出てきます。元気の源の充電ができそうです。

皆に伝えたい言葉 「自然がぼくらの友だちだ」 「自然がぼくらの先生だ」

ムクロジの実を拾ってきて、石鹸つくりしていたクラスを覗くと、いろいろな発見をしている。次々にいろいろ試してみようとしている。やってみようとしている。「すごい！」「失敗した！ どうしてだろう？」と考えることに繋がっている。アワアワ作り挑戦・靴下の洗濯・シャボン玉液作り・・・と挑戦している。その遊びの発展は、まだまだ続きそうである。中から出てきた黒い固い実。バケツに集めたその実をかき混ぜると子どもたちから発せられた言葉、「いい音がする！」何かまた挑戦・体験が始まりそうである。自然との共生そして、実体験は、次々に感動を生み、更に、挑戦へと繋がる。まずは、春の自然に感謝。5月は5月の自然を子どもたちと共に楽しもう！